

● 草の根パートナー型

2016年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カメルーン国
2. 事業名	東部州における小規模農家を対象としたキャッサバ商業化支援
3. 事業の背景と必要性	カメルーン国では、森林及び天然資源の荒廃が深刻化する一方で、年率2.5%と高い人口増加率を示しており、森林資源の保全と農業開発のバランス、さらには住民の暮らしを向上させる方策が求められている。本事業は、カメルーン国の中でも経済的後進地域である東部州の小規模農家を対象として、森林伐採と農地拡大を行わない方法により、持続的で収益性の高い農業・農村開発モデルの提示を試みる。
4. プロジェクト目標	キャッサバ加工品の販売-加工-生産部門への技術協力を通じ、対象村の各世帯の農業収入を向上させる
5. 対象地域	カメルーン東部州の森林/サバンナ境界地域（活動対象村名：Andom村）
6. 受益者層（ターゲットグループ）	ベルトア地域Andom村のFOSAS運営委員会（FOSAS Village Committee）、カルティエ作業チーム、農家世帯（村内全192世帯）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャッサバ加工品の販売ネットワークの形成と生産-販売管理システムを確立する</li> <li>2. バイヤーが求めるキャッサバ加工品の生産及び加工施設の自立的な運営管理が実施される</li> <li>3. キャッサバの安定品質・安定供給及び作目の多様化を確保できる栽培体系が実践される</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <p>0-0 対象農家へのベースライン調査の実施（販売-加工-生産状況の把握）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 マーケティング担当者への能力向上を兼ねた市場調査の実施とその結果を踏まえた対象市場、バイヤー、加工品の選定、及び参入障壁の把握</li> <li>1-2 農家、バイヤー、C/P等が一堂に会する関係者会議での売買交渉（出荷量、出荷時期、品質等）の実施</li> <li>1-3 バイヤーのニーズに合わせた生産、加工および販売の一元管理体制の構築</li> <li>1-4 フォローアップ・モニタリング体制の確立</li> <li>2-1 FOSAS運営委員会の組織編成の見直し</li> <li>2-2 加工技術担当者に対し、バイヤーのニーズに合った加工技術研修を実施</li> <li>2-3 財務担当者に対し、加工施設及び作業チームが継続的に活動できるような財務管理を指導</li> <li>2-4 フォローアップ・モニタリング体制の確立</li> <li>3-1 土壌被覆、緑肥作物の投入など地力維持かつ増産に繋がる栽培技術指導</li> <li>3-2 機械的除草技術の導入</li> <li>3-3 換金性の高い野菜などを最適に組み合わせた多品目輪作体系の構築</li> <li>3-4 フォローアップ・モニタリング体制の確立</li> </ol>
8. 実施期間	2018年11月～2021年11月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	62,936千円
10. 事業の実施体制	共同企業体を組み、国立農業開発研究所をカウンターパート機関として実施
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	株式会社タスクアソシエーツ、特定非営利活動法人平和環境もやいネット
2. 活動内容	株式会社タスクアソシエーツ：農業・農村開発分野に特化した開発コンサルタント業務 特定非営利活動法人平和環境もやいネット：人々が環境、地域と平和的、共生的に接する道を探るための活動